

令和3年度

第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会（紙面開催）における意見等

I 特色ある学校づくりに努めていますか。

- ・コロナ禍においても、生徒さん達が学業や各種行事や部活動などに元気に取り組んでいる様子が、資料から伺えました。
- ・県下初の女子教育機関という歴史と伝統を重んじながら、グローバルな人材育成プログラムや探究学習などの新たな取り組みも開始し、特色ある学校づくりをしている様子がよくわかります。リモートも発達してきているので、全国の様々な大学（高女卒業生）に声をかけるなどして視野を広くして国内だけでなく世界に羽ばたく卒業生を更に多く作り出して行って欲しいです。
- ・高女グローバル研修 inUSA が昨年中止になりましたが、代替企画として昨年度末に「Gunma Youth Leader Program 2021」が開催され、英語でプレゼンテーションを行ったと伺っています。コロナ禍で海外に行く機会が奪われていた高校生にとって、とても良い機会になったと思います。

II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。

- ・早朝課外や放課後課外なども行っていただき、生徒が学習する機会が十分ある様子がかがえ、素晴らしいと思います。ただ卒業生としてよく振り返ってみると、どうしても思春期の女生は男性に比べて奥ゆかしく繊細な部分があり、周りの意見に翻弄されたり、他者の目が気になったりして本当の自分がさらけ出せないことが多いと思うので、生徒には一種の凶太さを持ってもらいたいです。
- ・朝学習や職員室へ質問など、わからないことをそのままにせず、即対応していただくと娘から聞いています。時には、授業の内容がわからないため教え方をわかりやすく変更してほしいと希望して先生に泣いてお願いし、対応していただいたというエピソードも聞きました。

III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。

- ・生徒さん達が先生方に相談しやすくなったり、アンケートに正直に答えやすくなったりすると報告件数が増えますし、早期発見と対策にはそれが望ましいと思います。目標に「いじめ件数0」とありますが、深刻ないじめを0とすることを引き続き目標に置きつつ、「相談を受けた件数」や「早期に気付いた件数」は別に集計するのはいかがでしょうか。
- ・いじめ防止や欠席・遅刻・早退者を少なくする取り組みを十分にされていると思います。昨今は新型コロナウイルスによる休校等で、友人関係が希薄化したり、ストレスがたまる状態が続いていると思います。SNSの発達により事件に巻き込まれる生徒

も増えてきているようですので、引き続きスクールカウンセラーなどすぐに相談できる窓口をお願いします。

- ・ちらっと聞いた話ですが、不登校の生徒さんに担任の先生が毎日訪問して様子をうかがっているとお聞きしました。娘は椎樹祭の時に不登校気味のお子さん（生徒）と教室内を見学できて楽しく過ごせたエピソードを家族に話してくれました。

IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。

- ・生徒の主体的な進路選択について適切な指導をされていると思います。これからは女生が活躍していく時代です。高校3年間で様々な活動や体験も女子だけで全て行うという「女子高ならではの特色」を生かして、卒業後にどのような道に進み、社会でどのような役割を担っていくのかを考えて行動する3年間にしてほしいと思います。
- ・娘は大学を調べたり、学部を調べたりして行きたい大学を探しています。生徒が主体となり、それを先生方、保護者が支えるバランスがとれた進路選択ができる取り組みがされているかと思っています。感謝しています。何かありましたら担任に相談させてください。

V 開かれた学校づくりに努めていますか。

- ・学年集会や進路講演会、教養講座等で学校へ足を運んでいます。部活動も積極的に高い活気にあふれています。私の娘は吹奏楽部ですが、定期演奏会、椎樹館で行われたパート別演奏会に参加させて頂き、学校での様子、部活動での様子を知る事ができています。
- ・オンラインで複数回の授業公開をされているなど、開かれた学校づくりをされていると思います。さらに多くの方に高女の素晴らしさを知って頂くため、ホームページだけでなく「You Tube」などの動画配信サービスやSNSなどを活用していくのも良いのではないかと考えます。

VI 教育のデジタル化に努めていますか。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、オンライン授業やGIGAスクール等、ICT活用が進んでいることが同封資料からも伝わっています。学生の学びの支援はもちろんですが、先生方のご負担を減らすという観点からもICTが活用されることを願っております。
- ・コロナ禍もあり、ICTを活用した授業をされていることがわかりました。引き続きアンケート等を用いて生徒たち、先生方のやりやすい方向でデジタル化を進めていきたいと思っています。
- ・昨年度、生徒1人につき1台PCが貸与され、娘は積極的に活用しています。親としては学校への行き帰りに自転車の振動等で壊してしまうのではないかと心配しています。